

海上の森自然環境保全地域維持管理事業について

1 シデコブシの保全

周辺樹木の生育による日照不足から開花や結実が少なくなり、生育状況の悪化が懸念されていたシデコブシについて、生育環境改善のための調査と保全活動を実施している。

調査は、平成 19 年度から平成 23 年度にかけて、屋戸川・寺山川野生動植物保護地区の一部区間において、試験的に除間伐を行い、光環境改善効果について名古屋大学へ調査委託した。

平成 24 年 11 月からは、この結果を基に、大和リース株式会社名古屋支店と協働して、名古屋大学の指導・助言のもとに周辺樹木の除間伐を春と秋に実施している。

- 平成 27 年度：平成 27 年 4 月 8 日、39 名参加
平成 27 年 11 月 4 日、43 名参加

- 平成 28 年度（春）：平成 28 年 4 月 20 日、27 名参加

今後も保全活動を実施し、名古屋大学の指導・助言をもとにシデコブシの保全に努めていく。



シデコブシ保全活動

2 スミレサイシンの保全

四ツ沢北東部野生動植物保護地区の生育地で、平成 21 年度に実施した二次林内の竹林の除伐等によりチヂミザサ等の雑草が繁茂したため、平成 22 年度から海上の森の会と協働して、除草や一部の場所で落葉の除去作業を実施している。

- 平成 27 年度：平成 27 年 9 月 24 日、15 名参加
平成 28 年 1 月 14 日、8 名参加

- 平成 28 年度：平成 28 年 9 月 15 日、13 名参加

今後も保全活動を実施し、植物分野の専門家の指導・助言を得ながらスミレサイシンの保全に努めていく。



スミレサイシン保全活動

3 湿地の保全

屋戸川流域の湿地について、貧栄養湿地としての特性を保全するため、海上の森の会と協働して、アシやヌマガヤなどの枯れ草を除去している。

- 平成 27 年度：平成 27 年 12 月 24 日、21 名参加

- 平成 28 年度：平成 28 年 12 月（予定）

今後も保全活動を実施し、植物分野の専門家の指導・助言を得ながら湿地の保全に努めていく。



湿地保全活動

4 ギフチョウの保全【新規：自然環境保全地域保全復元事業】

近年、急激に減少しているギフチョウの生息地を保全・復元するため、県発注(森林整備)工事と地元NPOや東部丘陵生態系ネットワーク協議会員等との協働により、屋戸川(屋戸湿地の上流側)において保全作業を実施する。

作業内容については、食草のカンアオイ類や吸蜜植物のツツジ類等を保全し、ギフチョウの飛翔空間を確保するため、以下の項目を実施する。なお、実施にあたっては、専門家の意見を聴くとともに、作業効果を評価するため、開空度調査及びカンアオイを指標とした植生調査を実施する。

1. 森林整備工事

- (1) 請負者：(株)緑公園柴田造園
- (2) 工期：平成28年6月27日から平成29年2月10日まで
- (3) 工種：受光伐(間伐) 1.68ha、除伐 1.30ha、ササ刈 1.68ha、植生調査等

2. 協働作業

- (1) 協働者：(NPO)海上の森の会、東部丘陵生態系ネットワーク協議会員、その他企業等
- (2) 作業内容：除伐 S=0.38ha、ササ・除伐木の整理・片付け
- (3) 普及啓発：ギフチョウ等里山保全学習会

3. 専門家指導

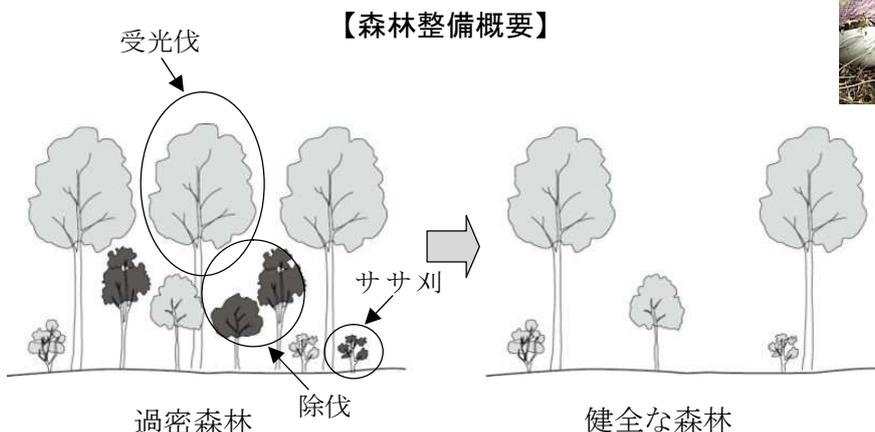
- (1) 専門家：芹沢俊介愛知教育大学名誉教授、増田理子名古屋工業大学教授
高橋匡司日本鱗翅学会自然保護委員会東海支部長
- (2) 指導内容：保全計画の策定、調査方法等の検討、伐採木の選木や希少種保護の現地指導

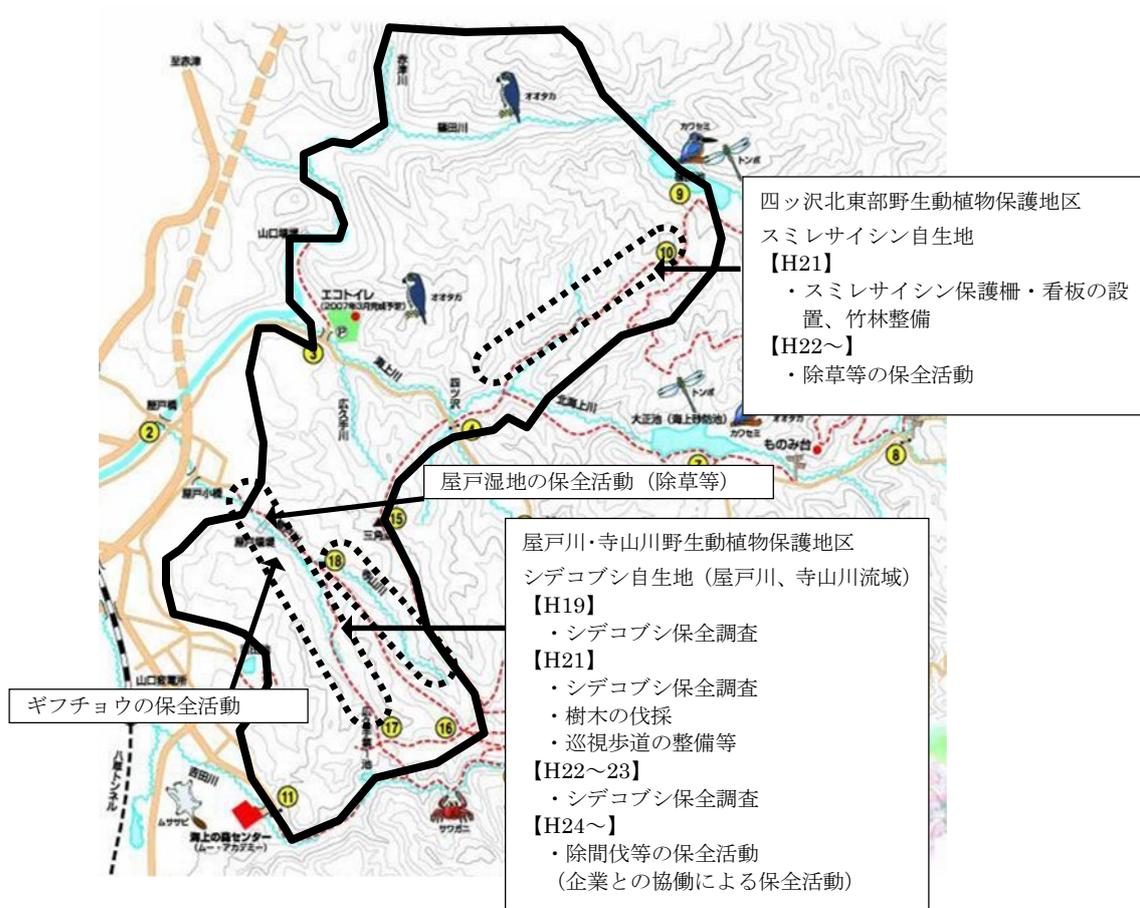
【保全活動等実施状況】

- 7月27日 ササ・除伐木の整理 (NPO)海上の森の会会員始め29名
普及啓発(東部丘陵の取組について) 南山大学 江田信豊教授始め37名
- 8月24日 普及啓発(基調講演ほか) 名古屋工業大学 増田理子教授始め58名
- 9月15日 ササ・除伐木の整理 愛知県職員6名
- 11月29日(予定) 除伐 (NPO)海上の森の会会員他
普及啓発(ギフチョウの保全)



ギフチョウ保全活動





図：海上の森自然環境保全地域における希少種保全対策